

「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」 鳥取県運営基本計画（素案）

令和7年11月19日

「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」大会概要

1 名称	第11回防災推進国民大会鳥取大会
2 主催	防災推進国民大会2026実行委員会（予定） (内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)
3 協力	鳥取県
4 テーマ	<例年は開催年1月に内閣府より発表>
5 会期	令和8年10月17日（土）18日（日）
6 想定来場者数	延べ約10万人 ※併催イベント来場者含む
7 開催場所	鳥取県倉吉市 エースパック未来中心、鳥取県立美術館、大御堂廃寺跡 倉吉市交流プラザ、上灘公民館 等
8 イメージ キャラクター	 <p>「BOSAI」の「B」とハートからデザインされ、人と人とのつながりで「防災」を作り上げ、安心安全な日常を願うというコンセプトで考案されました。 (全体を通じたキャラクター)</p>

ぼうさいこくたい概要

- 「防災推進国民大会」(通称「ぼうさいこくたい」)は、国民の防災意識向上のため、内閣府等が平成28年度から毎年開催しており、産学官民の関係者が日頃から行っている防災活動を発表し、交流する日本最大級の防災イベント。
- ぼうさいこくたい2025in新潟にて、次回開催を鳥取県倉吉市で行うことが発表された。

〔開催の経緯〕

- ・平成27(2015)年3月、「第3回国連防災世界会議」で「仙台防災枠組 2015-2030」が採択
- ・そこでは、自助・共助の重要性が国際的な共通認識とされ、各界各層の有識者から成る防災推進国民会議が発足
- ・この発足を機に、内閣府、防災推進協議会とともに、国民の更なる防災意識向上を図るべく、平成28(2016)年に第1回を東京都で開催(これまで10回開催)



オープニングセッション



各地域のNPO等の交流セッション



パネル展示

3

鳥取県開催の意義

○鳥取県中部地震から10年の節目

平成28年10月21日に鳥取県の中部を震源とした最大震度6弱を観測した「鳥取県中部地震」。10年の節目に被災地の一つである倉吉市をメイン会場に、防災を通じたつながり合い、一人ひとりが命とくらしを守ることの大切さを強く発信する。

○県内外に防災のノウハウを共有

本県には、中部地震を契機とした「災害ケースマネジメント」や「支え愛マップ」などの特徴的な活動の他、県内関係団体等による特色ある多様な取組がある。それらを、全国に向けて発信するとともに、大会での交流を通じて更なる取組強化につなげていく。

○防災への若者・女性の参画促進

本県では、「鳥取県版避難所運営ゲーム（HUG）」等の若者が中心となった防災活動や、女性による活動ネットワーク構築など、地域防災の新たな核となる担い手が着実に育ちつつある。本県独自の展開として、若者・女性の視点を取り入れ、鳥取県らしい防災活動推進の契機としていく。

○大会を契機とした地域防災力の向上

本大会を一過性のイベントとせず、開催を契機として、県民意識の向上、地域の防災活動活性化など、持続可能な形での地域防災力の底上げを図っていく。

○大会開催を通じた本県の魅力発信

県内外からの来場に対し、倉吉市全体を使い、食・産業イベントの併催や、地域イベントと連携し、鳥取県の魅力を広く発信していく。

4

(参考)とっとり防災支え愛宣言2025

鳥取県西部地震から25年。私たち鳥取県民は、幾多の災害から得た教訓を胸に刻み、地域の絆を生かした「支え愛」を育み、来年開催される「ぼうさいこくたい」を目指して、平時も災害時もお互いにつながり合い、一人ひとりが命とくらしを大切に守っていくことを決意し、安心して暮らし続けていくことができるふるさと鳥取県と共に築いていくことを誓います。

- 1 これまでの「災害の経験と学び」を次の世代と世界に伝えていきます。
- 2 災害から自分や家族の命を守るために、日ごろから防災と減災に取り組みます。
- 3 地域でつながりを持ち、絆を深めると共に「支え愛」を大切にした「誰一人取り残さない地域づくり」を目指します。
- 4 日ごろから男女共同参画をはじめ基本的な人権を重視した視点を取り入れ、誰もが参加できて役割がある「みんなが安心して暮らせる地域づくり」を目指します。
- 5 鳥取での震災の教訓を、ぼうさいこくたいを通して全国に伝えます。

令和7年10月6日

実施体制

「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」主催団体

防災推進国民大会2026実行委員会

内閣府
(防災担当)

防災推進国民会議

防災推進協議会
(次ページ)

○防災推進国民会議

経済界・労働組合

一般社団法人日本経済団体連合会
公益社団法人経済同友会
日本商工会議所
日本労働組合総連合会
公益社団法人日本青年会議所

地方六団体

全国知事会
全国市長会
全国町村会
全国都道府県議会議長会
全国市議会議長会
全国町村議会議長会

消防関係

公益財団法人日本消防協会
全国消防長会
一般財団法人日本防火・防災協会

教育界

公益社団法人日本PTA全国協議会
公益社団法人全国子ども会連合会
全国幼児教育研究協会

全国連合小学校長会
全日本中学校長会
全国高等学校長協会
全国都道府県教育委員会連合会
全国市町村教育委員会連合会
一般社団法人国立大学協会
日本私立大学団体連合会
一般社団法人公立大学協会

学術界

日本学術会議
防災学術連携体

メディア

日本放送協会
一般社団法人日本民間放送連盟
一般社団法人日本新聞協会
一般社団法人日本雑誌協会

医療関係

公益社団法人日本医師会
公益社団法人日本歯科医師会
公益社団法人日本薬剤師会
公益社団法人日本看護協会

福祉関係

社会福祉法人全国社会福祉協議会
日本介護支援専門員協会
日本介護福祉士会

障害者団体

日本障害フォーラム(JDF)

女性団体

全国女性団体連絡協議会
全国女性会館協議会

上記以外

日本赤十字社
公益財団法人日本財団
日本生活協同組合連合会
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

○防災推進協議会

防災推進協議会は、政府、地方公共団体と一体となって防災知識の普及、防災意識の高揚を図るとともに、災害被害を軽減する国民運動を推進することを目的として、この趣旨に賛同する民間団体等により設立された協議会。

- 設立:昭和57年
- 会長:清家 篤(日本赤十字社社長)
- 活動:内閣府との共催により「防災フェア」、「防災ポスターコンクール」等の各種事業を展開。

日本赤十字社
一般社団法人 日本損害保険協会
電気事業連合会
一般社団法人 日本鉄鋼連盟
石油連盟
一般社団法人 日本ガス協会
一般社団法人 不動産協会
一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会
公益社団法人 全国防災協会
一般財団法人 日本防火・防災協会
一般社団法人 生命保険協会
一般社団法人 日本民営鉄道協会
一般社団法人 日本建設業連合会
一般社団法人 全国建設業協会
一般社団法人 全国銀行協会
一般社団法人 全国地方銀行協会
日本百貨店協会
一般社団法人 日本電機工業会
一般社団法人 日本自動車工業会
石油化学工業協会
一般財団法人 都市防災研究所
一般社団法人 日本道路建設業協会
公益社団法人 日本水道協会
一般社団法人 全国消防機器協会

公益社団法人 全日本トラック協会
一般社団法人 日本ビルディング協会連合会
一般社団法人 第二地方銀行協会
一般社団法人 信託協会
公益社団法人 日本河川協会
公益財団法人 河川財団
公益社団法人 全国市街地再開発協会
一般財団法人 国土計画協会
一般社団法人 日本電設工業協会
一般財団法人 ベターリビング
一般社団法人 日本公園緑地協会
一般財団法人 日本ダム協会
一般社団法人 土地改良建設協会
日本証券業協会
一般社団法人 電気通信事業者協会
一般社団法人 農業土木事業協会
全国共済農業協同組合連合会
一般財団法人 日本気象協会
一般社団法人 日本フードサービス協会
一般社団法人 日本建設機械施工協会
一般社団法人 日本ホテル協会
一般社団法人 太陽光発電協会
一般社団法人 日本貿易会
日本製薬団体連合会
一般社団法人 セメント協会

一般社団法人 日本旅行業協会
日本化学繊維協会
一般財団法人 簡易保険加入者協会
一般社団法人 日本治山治水協会
一般社団法人 日本林業土木連合協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業協会連合会
板硝子協会
一般社団法人 日本即席食品工業協会
一般社団法人 電子情報技術産業協会
一般社団法人 日本照明工業会
公益社団法人 全国公民館連合会
日本生活協同組合連合会
全国地域婦人団体連絡協議会
一般社団法人 電池工業会
特定非営利活動法人 事業継続推進機構
特定非営利活動法人 ITS Japan
全国労働者共済生活協同組合連合会
一般社団法人 防災安全協会
一般社団法人 助けあいジャパン
特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
地区防災計画学会

「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」鳥取県運営委員会

【委員会目的】

大会に関係する若者・女性、防災関係、併催イベント関係など多様な分野・機関の代表者の方々で構成し、「大会の総合的な計画」及び「鳥取県ならではの展開・おもてなし」、「大会を契機とした地域防災力向上策」の方針等について検討する。

【委員構成】

《会長》

鳥取県知事

《副会長》

倉吉市長(開催地)、日本赤十字社鳥取県支部事務局長

とっとりプラットフォーム5+α 事務局代表、鳥大防災Lab.学生代表

《委員》※各団体代表者

県内市町村(倉吉市除く)、ぼうさいこくたい高校生活動推進委員会、

鳥取大学工学部附属地域安全工学センター、鳥取県社会福祉協議会、

とっとり災害支援連絡協議会、日野ボランティア・ネットワーク、

とっとり建設☆女星ネットワーク、とっとり若者活躍局、鳥取県消防長会、

鳥取県消防協会、倉吉銀座商店街振興組合、鳥取県農業協同組合中央会、

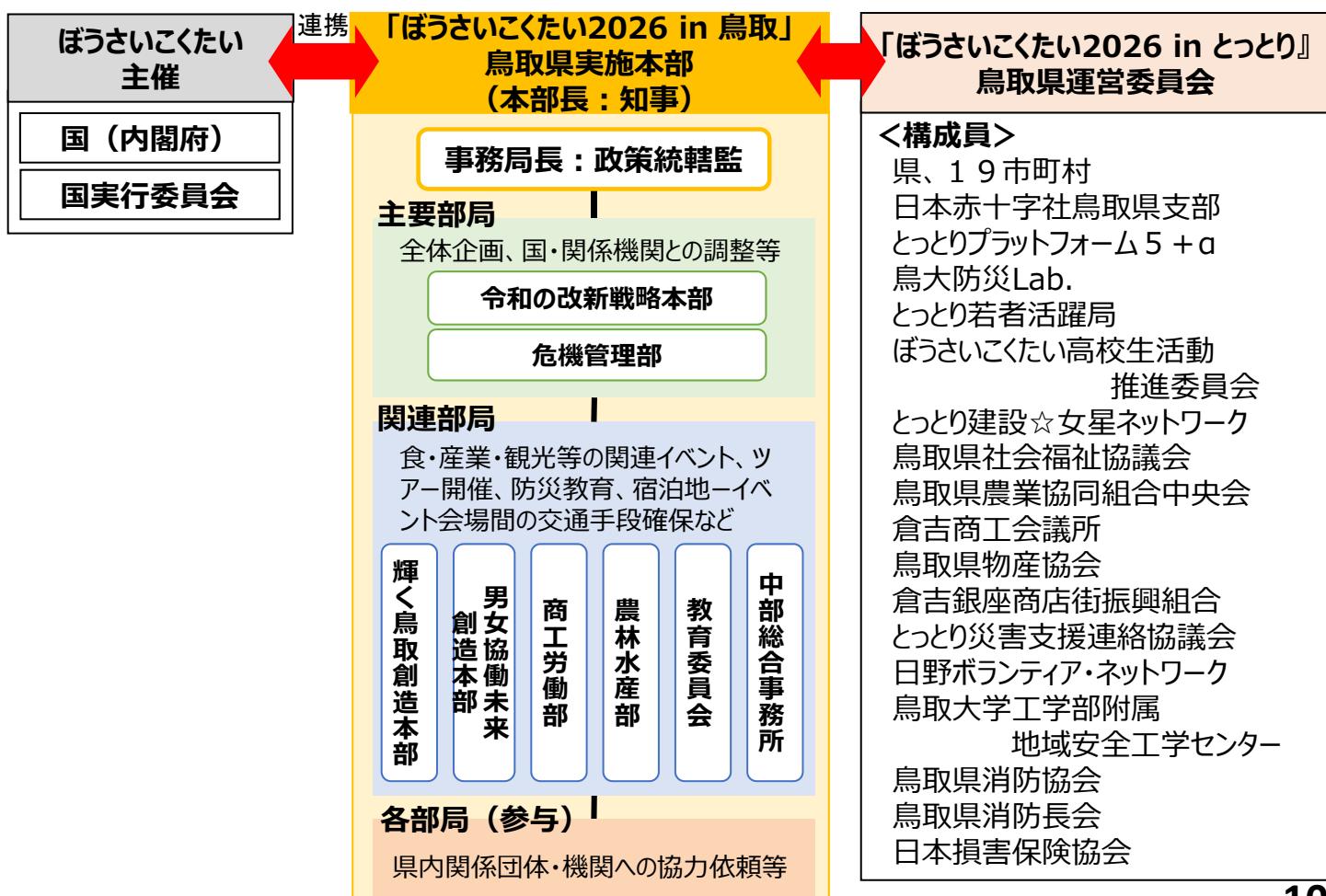
鳥取県物産協会、倉吉商工会議所、日本損害保険協会

【オブザーバー】

内閣府(防災担当)

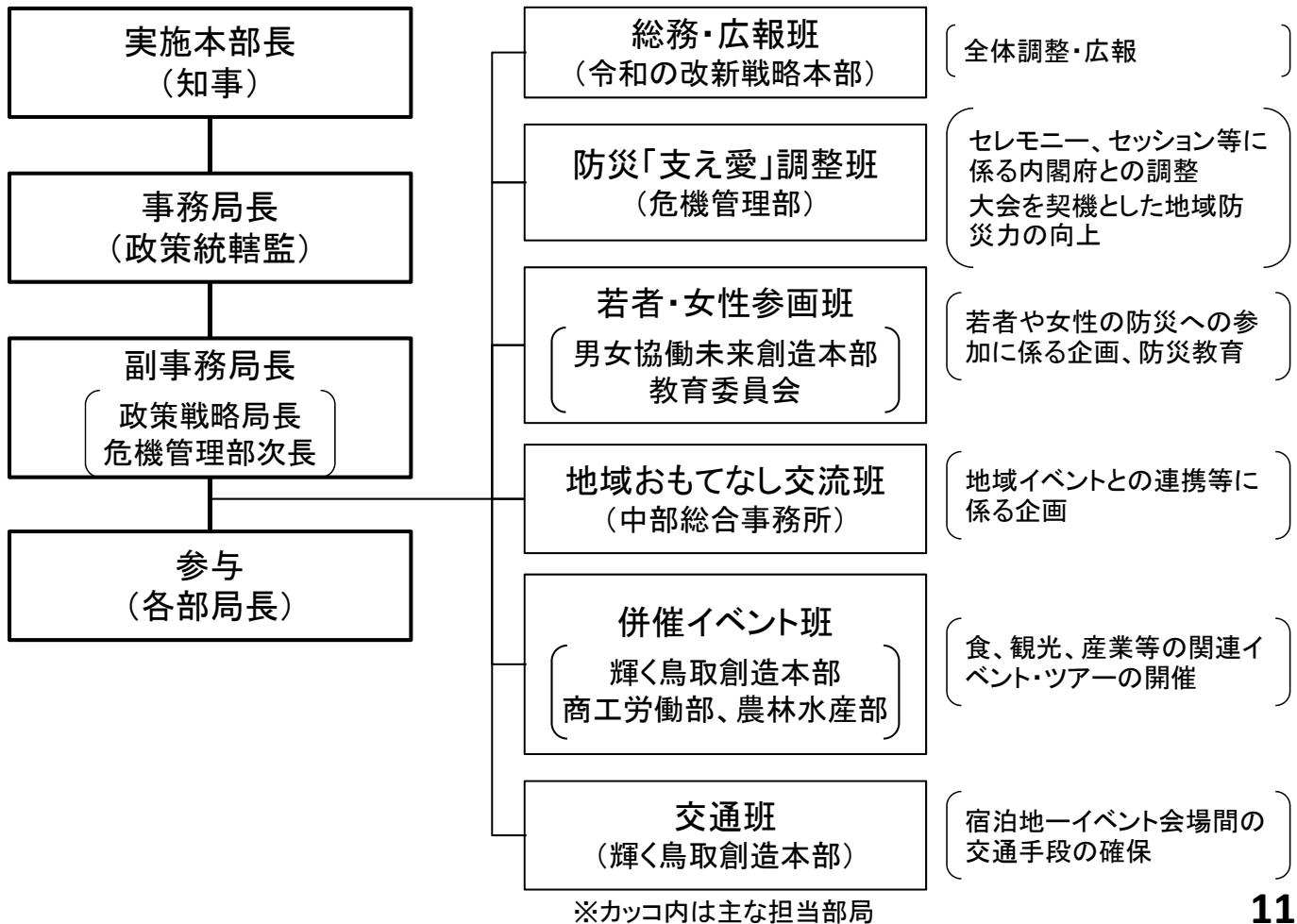
9

全体体制図



10

(参考)「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」鳥取県実施本部



11

各種イベント(案)

会場マップ



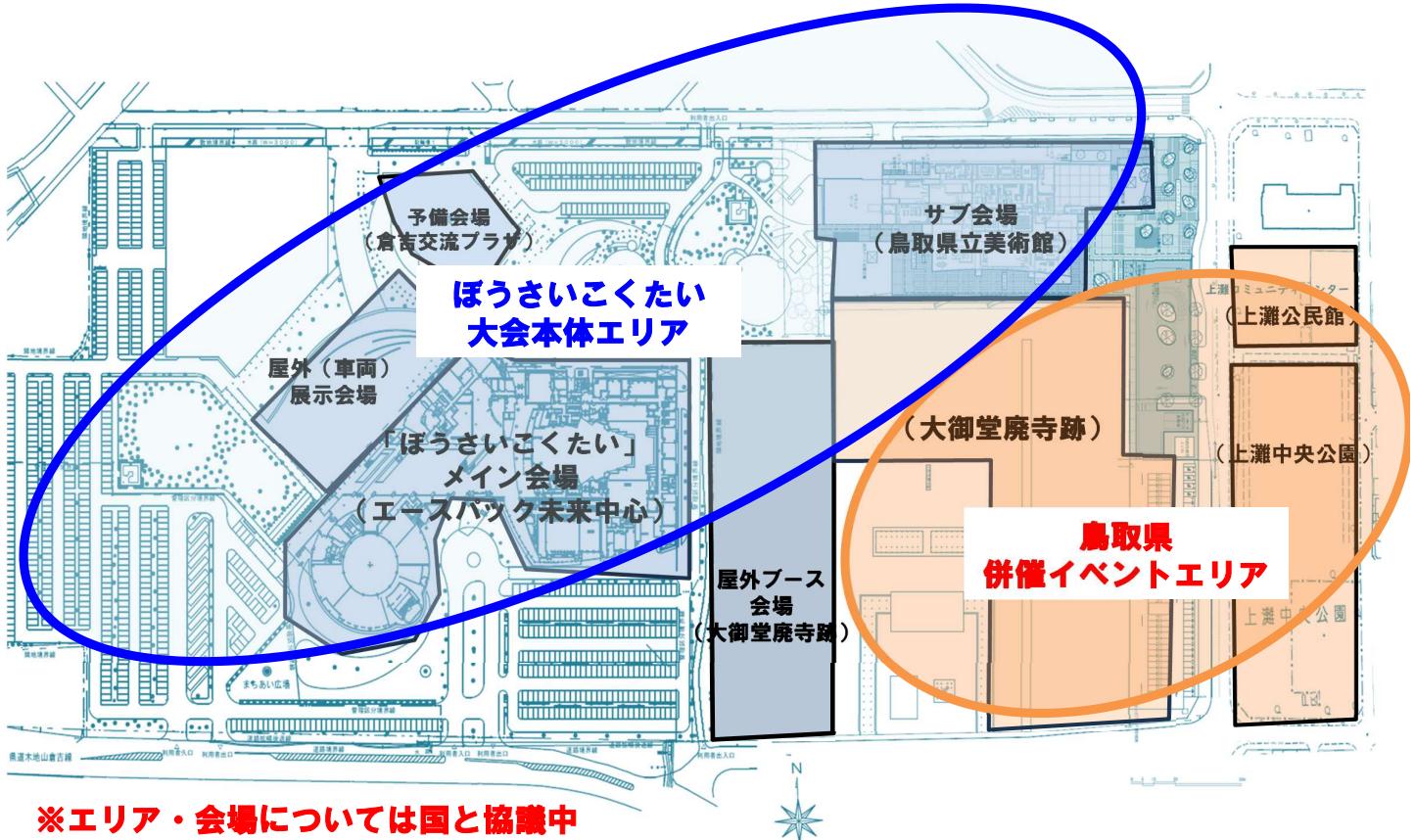
13

イベント全体図(案)

会場/イベント名	イベント内容	主管団体等	開催日	
			10/17 (土)	10/18 (日)
エースパック未来中心 (鳥取県立倉吉未来中心) 鳥取県立美術館	セッション	防災推進国民大会2026実行委員会(予定)	●	●
	ワークショップ		●	●
	ブース展示		●	●
	パネル展示		●	●
	防災&ジェンダー企画	男女協働未来創造本部	●	●
	防災観光ツアー	危機管理政策課	●	●
	屋外展示	防災推進国民大会2026実行委員会(予定)	●	●
上灘公民館	HUGワークショップ	鳥大防災Lab.	●	●
大御堂廃寺跡	食パラダイス鳥取県フェスティバル	鳥取県食パラダイス推進課	●	●
	とつとり産業未来フェス	とつとり産業未来フェス事務局	●	●
打吹回廊・倉吉銀座通り	福高祭	福高祭2026実行委員会	(企画検討中)	

14

メイン会場レイアウトイメージ(案)



15

本県らしい企画・出展(案)

○鳥取県の魅力を伝えるオープニングセッション

- 伝統芸能や、学生・若者によるステージイベントなどを披露



○県のメインセッションとして、本県らしいテーマでのパネルディスカッション

- 中部地震10年の復興の歩み、災害ケースマネジメント、防災支え愛マップづくりなど特徴的な取組紹介
- 地域防災力向上に繋がる若者・女性の参画、担い手育成 等



○若者・女性によるワークショップなど、多様性ある出展

- 若者・女性など、全ての人が防災の担い手として参画できる展示・ワークショップ 等



○未来に向けたクロージングセッション

- クロージングセッションでは、若い世代の方々も参画する持続可能な地域防災力向上に向け、メッセージを発信 等



【参考:新潟開催時】クロージング「未来に向かって」
(地元高校生によるぼうさいこくたいの感想・今後の防災への想いを発信)

16

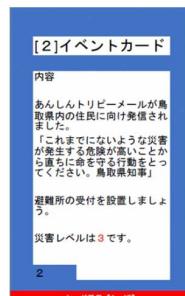
鳥取県参画イベント案(一例)①

【若者企画】鳥取県版HUG(避難所運営ゲーム)ワークショップ

内容	◎「鳥大防災Lab.」が主体となって県内学生企画による、全国の様々なHUGの展示、鳥取県版HUGをお披露目し、来場者に体験してもらうワークショップを開催。 ※HUG(ハグ)は「H:Hinanjo 避難所、U:Unei 運営、G:Game ゲーム」の頭文字
実施場所	上灘公民館

【鳥取県版避難所運営ゲーム (HUG) 特徴】

- ✓ HUGを開発した静岡県から使用許諾を得て、鳥取県独自の内容に改編し、令和5年1月に完成
- ✓ 作成にあたっては、若い方々の発想を取り入れるため鳥取大学学生防災サークル「鳥大防災Lab.」と連携
- ✓ イベントカードにあんしんトリピーメールによる情報提供や、避難者の名称を鳥取県内の地名にして親しみやすくしている



17

鳥取県参画イベント案(一例)②

【防災＆ジェンダー企画】ジェンダーの視点の防災対策

内容	◎よりん彩を活用した「ぼうさい・げんさい・よりんさい ～ジェンダーの視点の防災対策～」の開催 【ミニ講演会・ワークショップ】 <ul style="list-style-type: none">・地域防災における女性活躍などをテーマにした講演・災害時に役立つ缶詰などをを使った「もしもごはん」や「もしもトイレ」等【ジェンダー視点の避難所体験】<ul style="list-style-type: none">・よりん彩を避難所に見立て、ジェンダーに配慮した避難所の展示・体験を実施
実施場所	エースパック未来中心(よりん彩)



18

併催イベント案①

《食パラダイス鳥取県フェスティバル(仮称)》

内容	◎食パラダイス鳥取県の食を中心とした魅力発信イベントを開催し、大会を盛り上げるとともに、来場者に地域の特産品を味わっていただき、鳥取ファンを増やすことで、観光誘客及び地域の賑わいづくりに繋げることを目的とする。 ・「食パラダイス鳥取県」の多様な魅力PR 例) 食のブース出展、農水産物販売 等 ・土産販売・物販 ・ステージイベント
実施場所	大御堂廃寺跡、エースパック未来中心前広場



食パラダイス鳥取県

Food Paradise Tottori Prefecture 美食天堂鳥取県 美食天国鳥取県 美식 천국 鳥取県



(イベントイメージ)

19

併催イベント案②

《産業未来フェス》

内容	◎一般県民や学生等に対して県内の防災・安全技術やシステム等を体感いただき、県内産業への興味関心を高め、若者の県内定着等を図るとともに県内企業の販路拡大や将来を担う子ども達に未来の先端技術等を体験いただくことを目的とする。 【展示】 ① 防災・安全をテーマとしたAIロボットや車両等機械の展示 ② 県内企業(ものづくり・食品・宇宙・コンテンツ等)の展示ブース ③ 防災をテーマとしたアトラクション ④ 株)モンベルによる展示・販売 【ステージ】 ※テント内にステージを設置(席数:約100席を想定) ① 県内企業経営者向け基調講演・セミナー等の開催 ② 一般県民向けのイベントの開催 (県内企業による防災等をテーマとした体験型イベントを各種実施)
実施場所	大御堂廃寺跡西側エリア



20

県民参画・おもてなし

県民参画・機運醸成(案)

○出展者としての参画

- ・県内企業・団体等に広く出展に関する周知を図り、ブース、パネル出展による参画を促す。
- ・若者（学生）や女性の声を聴きながら、参画につなげる。
- ・各市町村パネルスペースを設置するなど、市町村でのアピールができる場を設ける。

○広く県民の参画

学生やボランティアバンク、自主防災組織など多くの方に参画いただき、県民一丸となって大会を盛り上げる。

○機運醸成

- ・ぼうさいこくたいイベントの開催。（例：100日前イベントなど）
- ・県内関係団体や県庁各部局が実施するイベント等を通じて、ぼうさいこくたいをPRする。
- ・若者アイデアなど、新たなアプローチで地域の防災について理解を深める。（SNS発信等）
（【若者提案】開催1ヵ月前から、身近な防災活動や設備等をSNSで投稿してもらう。等）

県外からの来場者への対応(案)

○宿泊地が倉吉市内だけではなく、三朝温泉・はわい温泉、鳥取市、米子市など県内全域に分散することが見込まれる。

対応策 公共交通機関の増便、各宿泊地から大型バスを運行

- ✓ 倉吉駅↔メイン会場（エースパック未来中心）間の公共交通機関（バス）の増便
- ✓ 自家用車での来県も想定し、会場周辺駐車場の充実と、駐車場↔メイン会場間（エースパック未来中心）のシャトルバスを運行
- ✓ 宿泊地からの臨時にシャトルバス運行を検討。
(運行場所：鳥取駅、米子駅、はわい・東郷温泉、三朝温泉など)

○鳥取県の魅力情報（観光地等）の発信

- ・県独自に「ぼうさいこくたい」専用のポータルサイトを設置し、県併催イベント情報を掲載するとともに、県内外の来場者向けに鳥取県の食、観光地、コンテンツ（まんが等）等の情報を事前～イベント当日まで戦略的に発信。
- ・出展者に向けても、説明会等の機会を通じて鳥取県の観光情報や旬の食情報等を案内。

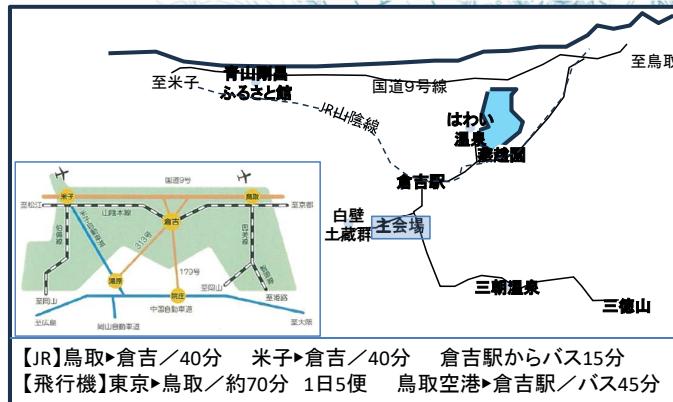
23

(参考)周辺駐車場計画 ※過去イベント例



24

シャトルバス運行計画(案)



路線バス	
シャトルバス	
うつぶきループバス	



スケジュール案

スケジュール(案)

	令和7年度（2025）（開催年）			令和8年度（2026）（開催年）			
	7・8・9	10・11・12	1・2・3	4・5・6	7・8・9	10・11・12	1・2・3
内閣府計画			○ テーマ発表（内閣府）	セッション・ブース 出展者募集	○ 出展者説明会 各セッション申込		
全体計画等			県実施本部				
			基本計画策定		県庁PT-WG 防災ツアーア申込		
県運営委員会			○ 11/19 第1回	4月頃 第2回	○ 7月頃 第3回		○ 11月頃 第4回
連絡・連携会議			○ 第1回	○ 第2回	○ 第3回		
ボランティア			ボランティア募集要綱等の検討		ボランティア募集・研修		
広報計画				関連イベントの実施 県内広報強化期間 ○ 100日前イベント			
その他	○ 新潟大会9/6-7					○ 鳥取大会10/17-18	

※今年度開催(新潟県)スケジュールを参考に作成(今後、国と調整)